

広島県で発生した主な土砂災害

広島では過去に幾度となく土砂災害による甚大な被害が発生。これらの災害が契機となり急傾斜地法や土砂災害防止法が制定されるなど、国の土砂災害防止施策へ大きな影響を与えてきた。

No	年月	要因	主な被災地	最大時間雨量	死者 行方不明者	関連法令
1	S20.9	枕崎台風	呉市・大野町	57.1mm	2,012人	
2	S26.10	ルース台風	大竹市・佐伯郡	26.2mm	166人	
3	S42.7	集中豪雨	呉市	74.7mm	159人	急傾斜地法制定
4	S47.7	集中豪雨	三次市	40.0mm	39人	
5	S63.7	集中豪雨	加計町	57.0mm	15人	
6	H11.6	集中豪雨	広島市・呉市	81.0mm	32人	土砂災害防止法制定
7	H22.7	集中豪雨	庄原市・呉市	91.0mm	3人	
8	H26.8	集中豪雨	広島市	121.0mm	77人	土砂災害防止法改正
9	H30.7	集中豪雨	広島県南部	63.0mm	155人	



(No.1) 廿日市市（厳島神社）



(No.3) 呉市警固屋



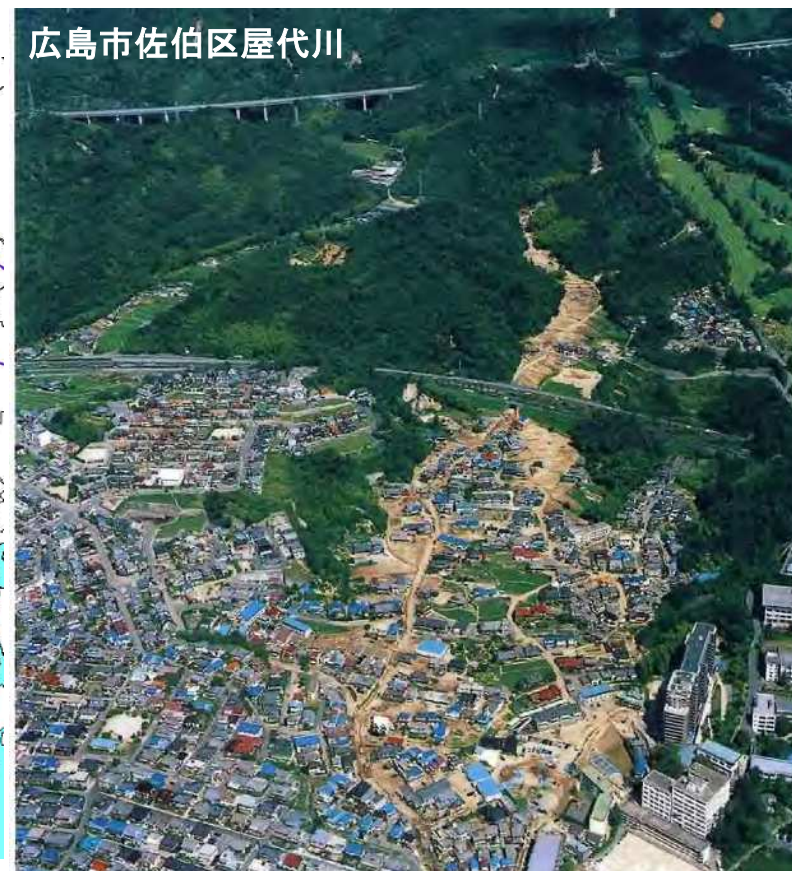
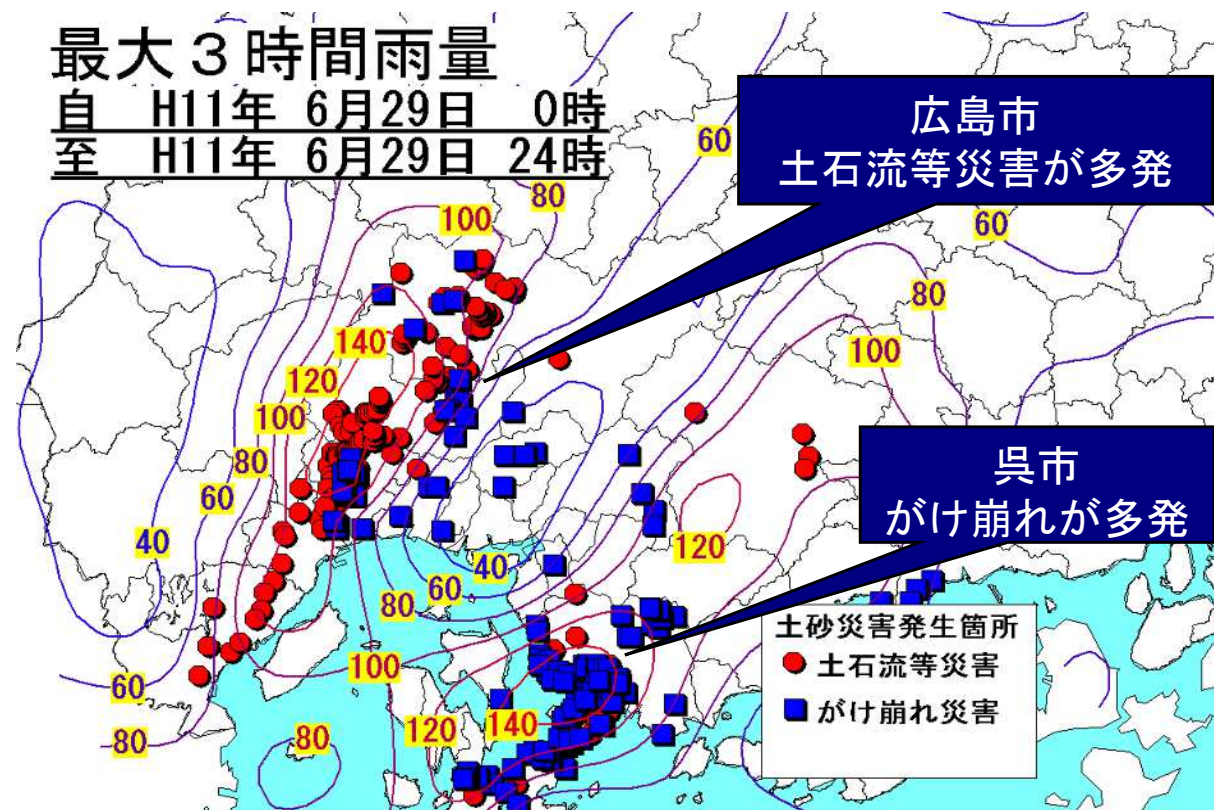
(No.6) 広島市佐伯区



(No.8) 広島市安佐南区

H11年 6.29災害

死者・行方不明者 **32**人 うち土砂災害による死者**24**人



- ・ 最大3時間雨量で140mm以上を観測した地域及びその周辺に被害が集中
- ・ 広島市では、佐伯区、安佐南区、安佐北区を中心に土石流が多発
- ・ 呉市では、がけ崩れが多発
- ・ 被害が都市近郊の新興住宅地に集中。土砂災害リスクの周知が課題。

H26年 8.20広島土砂災害発生状況

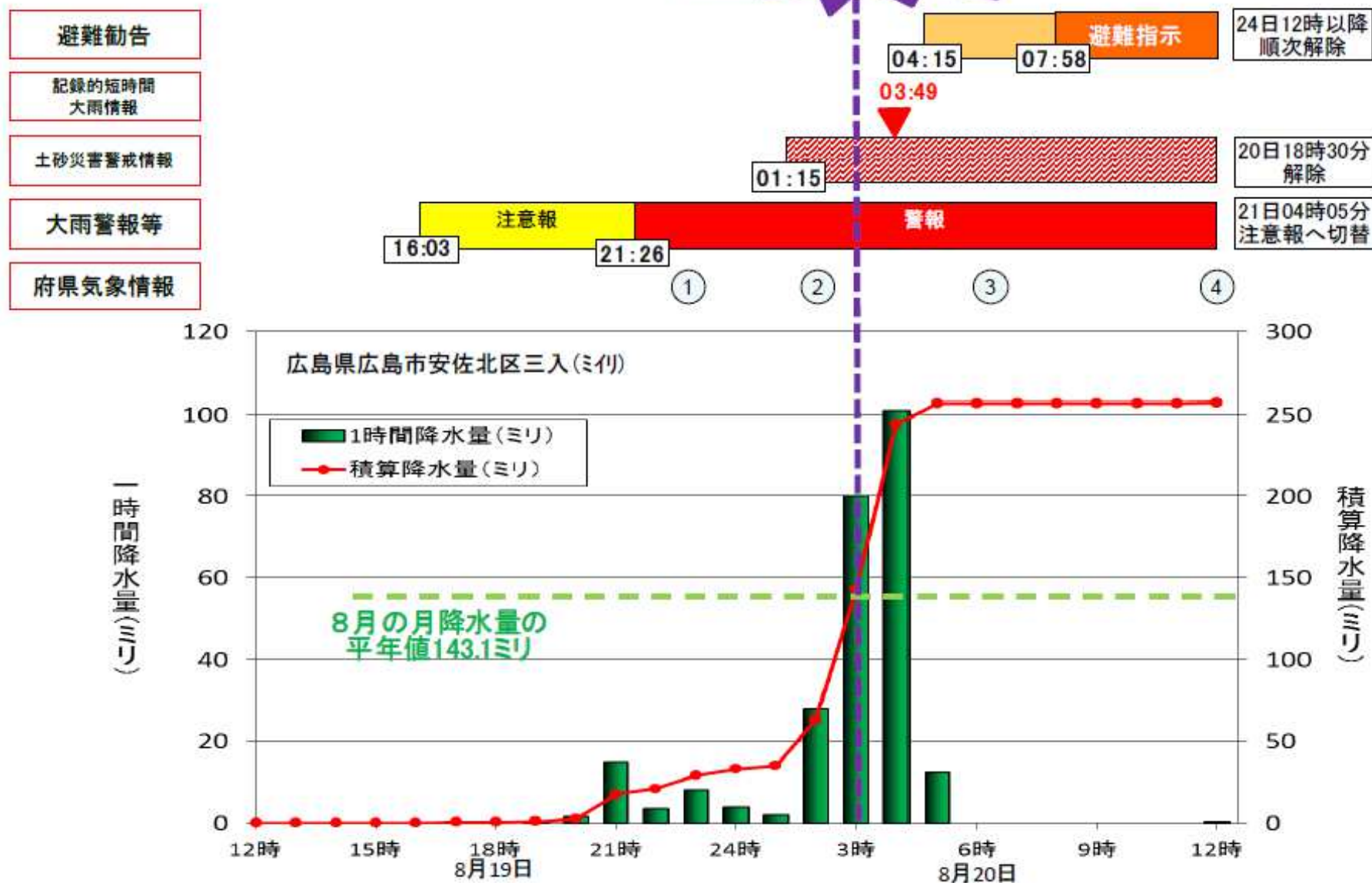


(※) 人的被害の合計は土砂災害関連死の死者も含む

この地図は、国土地理院発行の数値地図50000(地図画像)「広島」「加計」「海田市」「可部」を使用したものである。

広島県広島市の警報等発表状況

※気象庁の資料を基に内閣府が作成



| H26年8.20災害で明らかとなった課題（例）



○県全域において、土砂災害防止法に基づく基礎調査、および区域指定が進んでおらず、リスク情報が住民に十分周知されていなかった。

○避難場所や避難経路が、危険な区域内に存在していた。

○線状降水帯による急激な気象状況の変化を事前に予測することができなかった。

等々

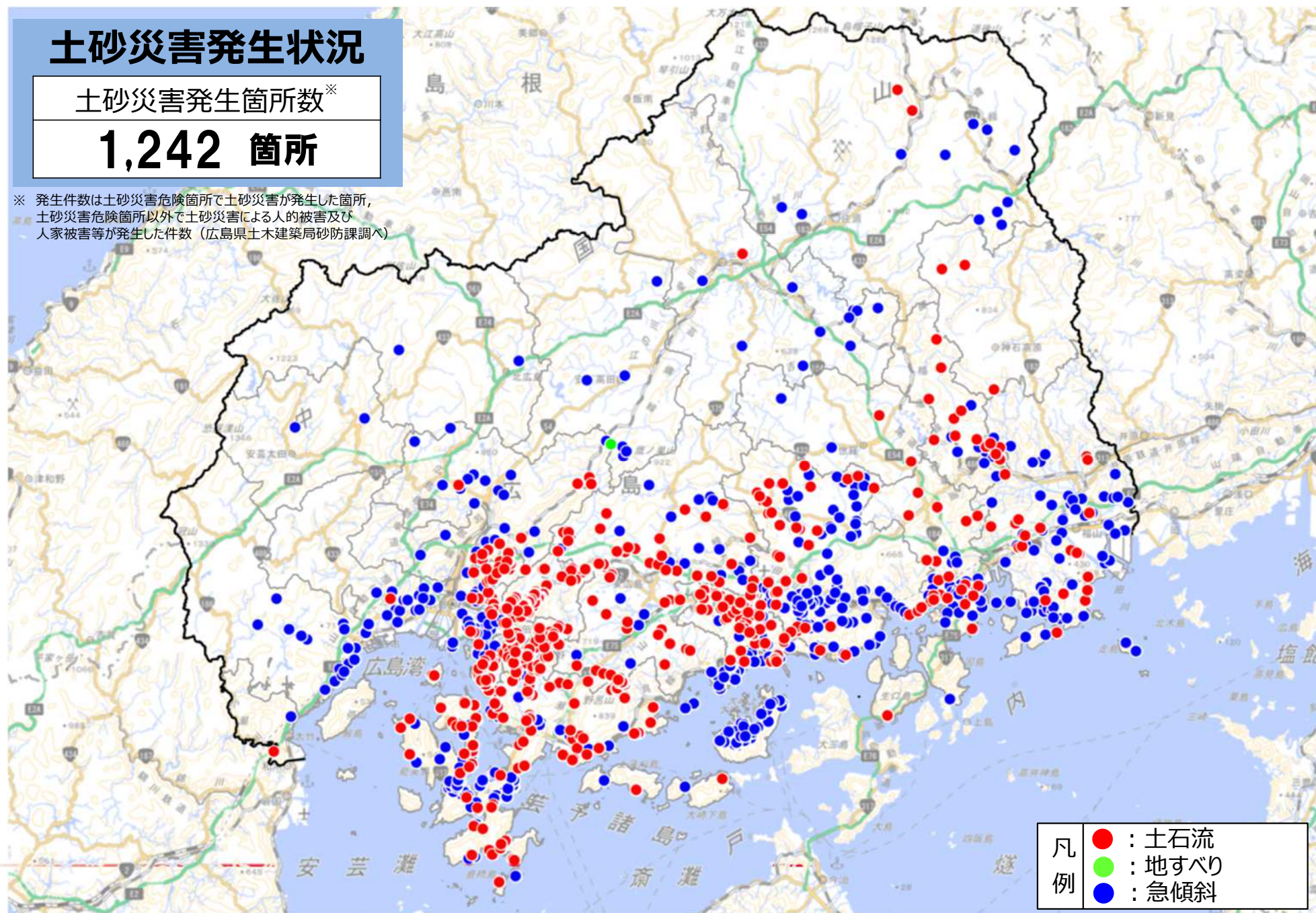
平成30年7月豪雨災害に伴う土砂災害

土砂災害発生状況

土砂災害発生箇所数※

1,242 箇所

※ 発生件数は土砂災害危険箇所内で土砂災害が発生した箇所、
土砂災害危険箇所以外で土砂災害による人的被害及び
人家被害等が発生した件数（広島県土木建築局砂防課調べ）



平成30年7月豪雨（西日本豪雨災害）

死者・行方不明者 155名 過去50年で最大の人的被害
直接的な被災による死者のうち、約76%が土砂災害による

<人的被害状況> (R3.3.25時点)

死亡・行方不明	155名
関連死	41名
その他	114名
土砂災害で被災	87名



(写真提供) 三原市

<避難状況> (H30.7.7 6時時点)

避難所開設数	702
避難者数	17,379

<その他の被害状況>

住宅被害 (R1.6.5)	15,678戸
土砂災害	1,242箇所 (23市町)
浸水被害	破堤12河川 越水90河川

県全域にまたがるライフラインの被害

	最大時
停電	約4万7千戸 (7月7日 8時時点)
断水	約22万戸 (各市町ピーク時)

<断水した市町>



給水所に並ぶ住民の方々



道路・鉄道への被害による大動脈の寸断

線路敷が流失し寸断される鉄道



J R 山陽本線 (河内～本郷駅間)

(写真提供) JR西日本

各地の通行止めで大渋滞



広島熊野道路

店頭から消えた商品



県内企業の操業不能続出

操業停止等あり	147事業所
直接被害あり (倒壊・土砂流入・浸水)	105事業所

(8月10日12時時点 広島県調査)

マツダ・・・通勤・物流の影響により操業停止
7/12から体制を縮小して再開
7/23から生産量を抑えて昼夜の交代制で再開

セブンイレブン・・・弁当・惣菜の生産現場
が一時操業不能
一時従業員の通勤困難により
生産を4割に縮小

孤立状態となった地区

3万2千人超 (9市町) が孤立状態に



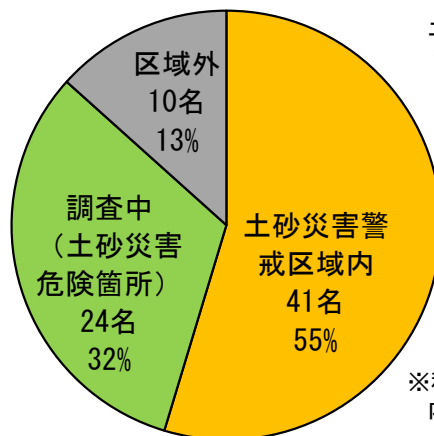
安芸郡坂町小屋浦

H30年7月豪雨災害で明らかとなった課題（例）

土砂災害リスクを示した区域内での被災

土砂災害による人的被害
箇所における区域の状況

国土交通省「第1回実効性のある避難
を確保するための土砂災害対策検討
委員会」資料4から抜粋



土砂災害による死者87名
（平成30年7月31日時点）

※移動中の被災等、被災場所が区域
内かどうか判定できない12名を除く

土砂・洪水氾濫の頻発

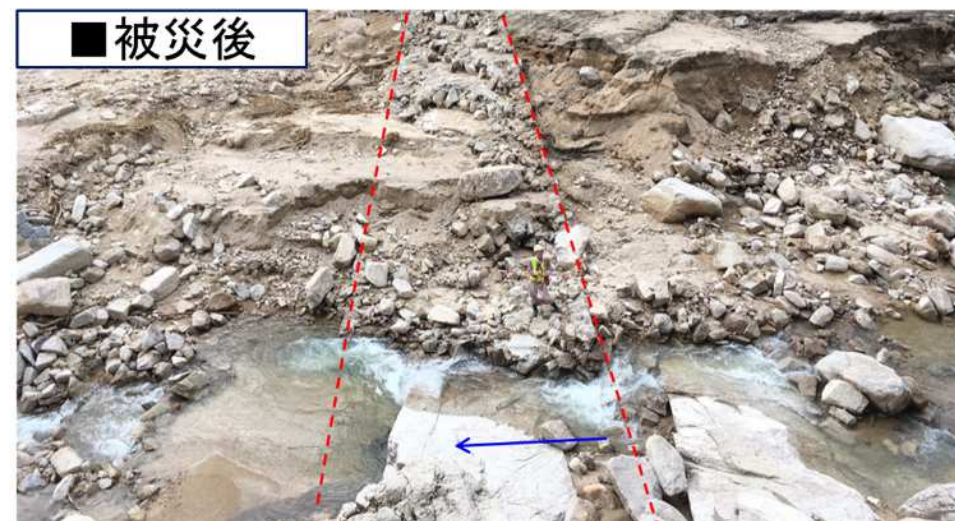


土石流による石積砂防堰堤の被災

■被災前



■被災後



平成30年7月豪雨時の避難実態

【住民アンケート※の実施結果】 ※平成30年7月豪雨災害を踏まえた今後の土砂災害対策のあり方検討会における土砂災害に関する住民アンケート（平成30年10月実施）

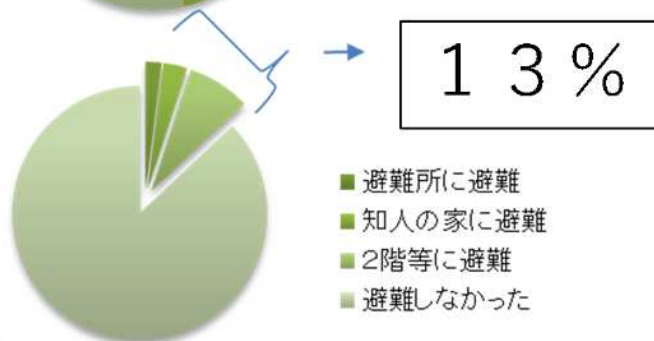
- 土砂災害警戒区域の指定は、**防災意識の向上や避難行動につながっている。**
- しかし、土砂災害警戒区域内であっても**事前の避難にはつながっていない。**

県内全域

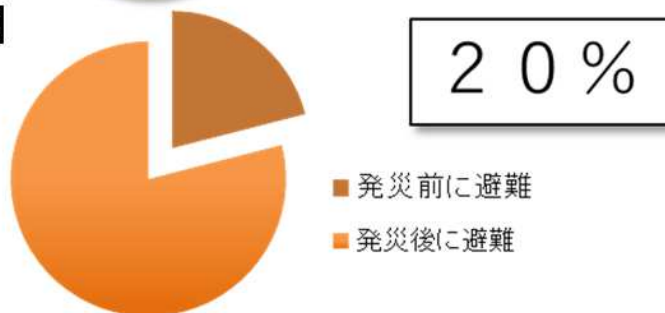
【防災活動】



【避難】



【事前避難】



土砂災害警戒区域内

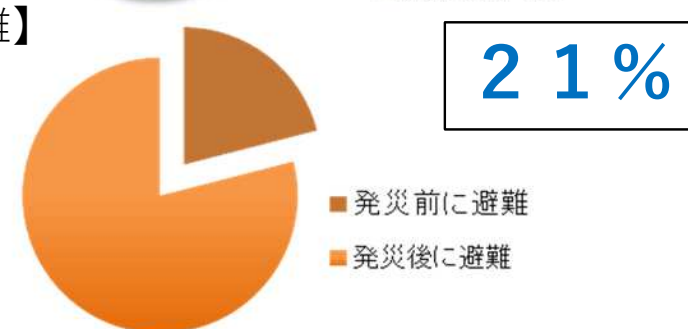
【防災活動】



【避難】



【事前避難】



広島県内の直轄砂防事業

○平成11年6月29日に発生した大規模な土砂災害を契機として、平成13年度から広島西部山系（広島市・廿日市市・大竹市の一部）において直轄砂防事業に着手。

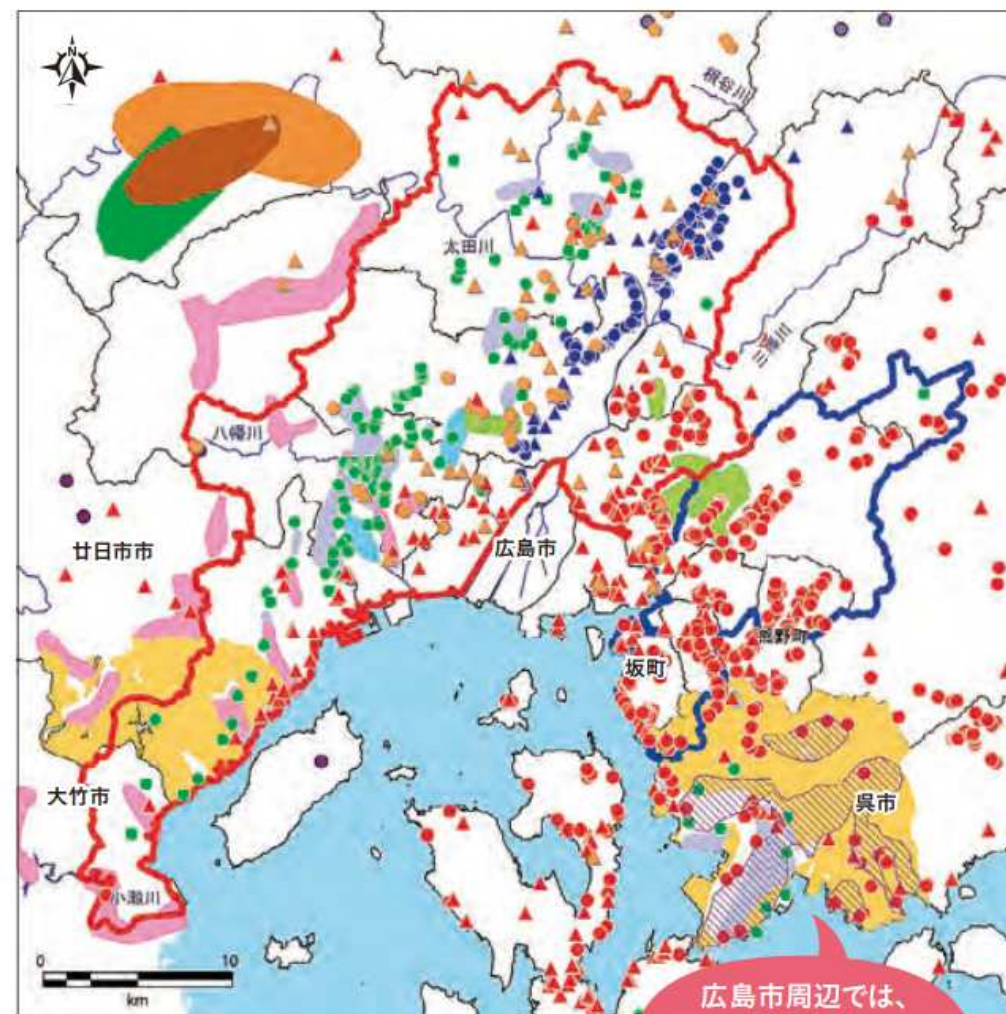
○平成30年7月豪雨により広域的に発生した土砂災害に対し、広島西部山系のほか、新たに広島市安芸区、呉市、安芸郡坂町を含む安芸南部山系において不安定な土砂に対する安全性確保のための緊急工事に着手。

■主な過去の土砂災害と直轄砂防区域

発生年月日	発生場所		人的被害(人)	
	発生河川	発生位置	死者 行方不明者	負傷者
大正 15.9.11	山本川(他)	広島市 (安佐南区他)	103	58
昭和 3.6.24	大塚川(他)	広島市 (沼田町他)	36	不明
昭和 20.9.18 (枕崎台風)	丸石川(他)	廿日市市 (大野町他)	2,012	1,054
昭和 26.10.14 (ルース台風)	中津岡川(他)	廿日市市他	166	361
昭和 42.7.9	津久茂川(他)	呉市	159	361
昭和 63.7.21	江河内谷川(他)	安芸太田町 (旧加計町他)	14	231
平成 3.9.27	田吹川(他)	安芸太田町 (旧戸河内町他)	6	49
平成 5.7.28	田吹川(他)	安芸太田町 (旧戸河内町他)	0	3
平成 11.6.29	大毛寺川(他)	広島市、呉市他	24	14
平成 17.9.6	八幡川(他)	廿日市市(湯来町、 宮島町他)	0	0
平成 26.8.20	根谷川(他)	広島市(安佐南区、 安佐北区他)	77	68
平成 30.7.5~7	大谷川(他)	広島市、呉市他	※1 156	※1 147
令和 3.8.11~15	八幡川支川(他)	広島市西区他	※2 3	※2 1

出典：※1「平成30年7月豪雨災害による被害等について」令和4年6月30日17:00現在
(広島県危機管理課)

※2「令和3年8月11日からの大雨による被害及び消防機関等の対応状況(第25報)」
令和4年3月25日17:00現在(消防庁応急対策室)



凡例

- 広島西部山系直轄砂防事業区域
- 安芸南部山系直轄砂防事業区域

広島市周辺では、
過去から
多数の土砂災害が
発生しています。

平成11年6.29災害を受けたソフト対策

「6.29広島県土砂災害対策検討委員会」の提言を受け、都市型災害に対し、従来のハード整備のみならず、警戒避難体制の整備等のソフト対策の推進を決定。

○土砂災害防止法への対応

- ・H12.5.8 土砂災害防止法公布
- ・H13.4.1 土砂災害防止法施行、全県13出先機関で基礎調査着手
- ・H14.2.27 広島県土砂災害警戒区域等法指定検討委員会 設置
- ・**H15.3.31 広島市安佐北区、佐伯区の13か所で全国初の警戒区域指定**

○その他の主な取り組み

- ・H13.6 **雨量情報等を提供する「広島県防災情報システム」を公開**
- ・H14.6 防災情報システムにおいて**「土砂災害危険箇所図」を公表**
- ・H17.6 広島県防災情報メール通知サービスの運用開始
- ・H18.9 土砂災害危険度情報公表開始



防災情報システムにおける「土砂災害危険箇所図」

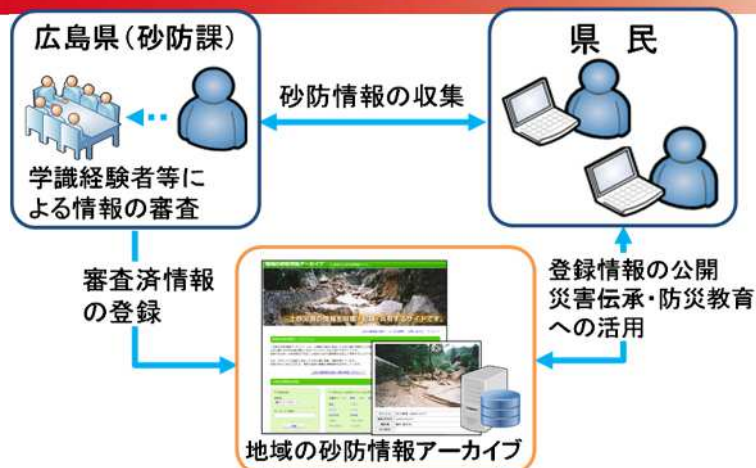


防災情報Web内における雨量情報等画面

過去の災害について知る取組（砂防情報アーカイブ）

■概要

「地域の砂防情報アーカイブ」は、地域の皆様から提供された過去の土砂災害に関する貴重な写真等を記録・公開し、土砂災害の記録を次世代に語り継ぎ、地域の防災意識の向上を図るため、平成23年度より県ホームページ上で「地域の砂防情報アーカイブ」を運用開始し、これまでに2000点を超える過去の災害写真や体験談等の資料を公開している。

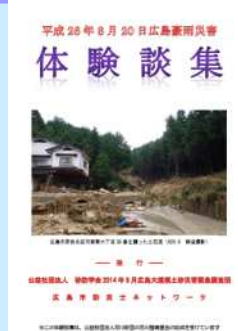


災害情報の記録・公開の一例

「地域の砂防情報アーカイブ」イメージ



平成26年8.20土砂災害
〔広島市安佐南区〕



昭和20年枕崎台風（厳島神社）
〔廿日市市宮島・紅葉谷川〕



平成28年6月豪雨（堂々川6番砂留）
〔福山市神辺町〕

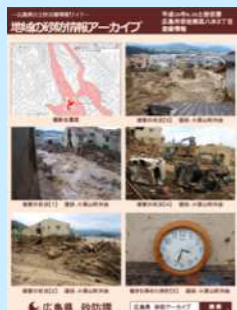


平成11年6.29豪雨記録誌

災害情報の活用



地域と連携した災害伝承パネル展



学生にフィールドワーク“語り部育成”
宮島紅葉谷川「庭園砂防」



地域主催のイベント
《全国砂留シンポジウム》



地域の方が“語り部”となり伝承

H26.8.20土砂災害 砂防治山 施設整備計画

- 被災が著しい溪流や緊急点検の結果を踏まえ、緊急的な対応が必要な57箇所から砂防堰堤等の緊急事業に着手。**(国土交通省は24箇所の緊急事業に着手)**(H26.9.19)。
- 国、県、市等が連携を図り、8.20災害の対応として**「砂防堰堤等の緊急事業等の施設整備計画」**を公表(H26.12.2)。

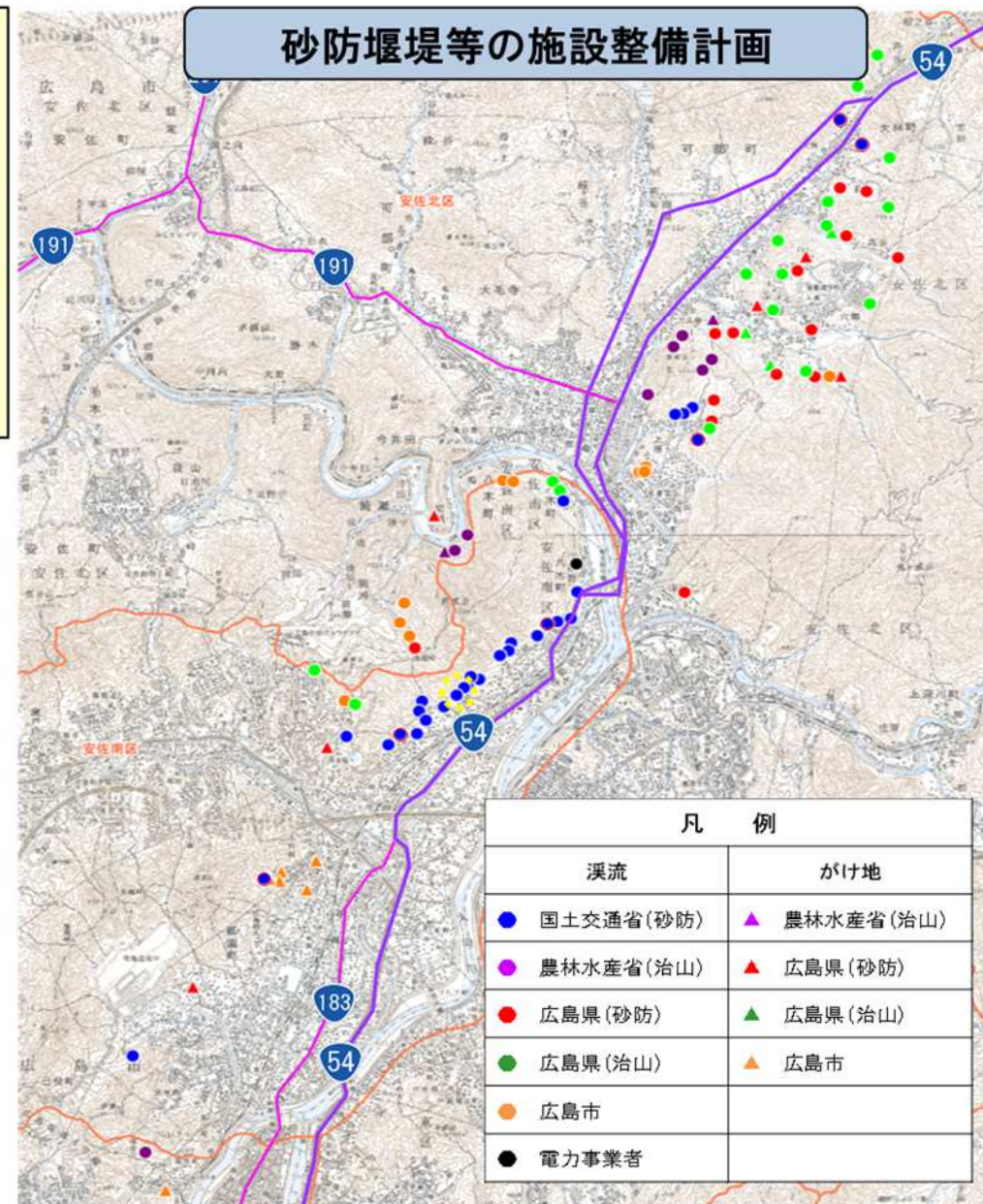
■砂防堰堤等の施設整備計画(H26.12.2)

[単位：箇所]

区分	事業主体	対策箇所	緊急的な 工事箇所	緊急的な工事 以外の箇所※1	合 計
砂防	国土交通省	溪流	24	6	30
	広島県	溪流	7	7	14
		がけ地	4	3	7
治山	農林水産省	治山	7	0	7
		がけ地	3	0	3
	広島県	溪流	9	8	17
		がけ地	3	0	3
	広島市	がけ地等※2	0	17	17
その他	電力事業者	溪流	0	1	1
合 計			57	42	99

※1：緊急的な工事以外の箇所には、災害前から工事を実施していた箇所、再度災害防止のために緊急的な工事箇所以外に行う箇所を含む。

※2：広島市のがけ地等には、広島市が管理する施設等の溪流対策を含む。



「みんなで減災」県民総ぐるみ運動

広島県「みんなで減災」 県民総ぐるみ運動とは



「災害に強い広島県」の実現を目指し、県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織等、事業者、行政等が一体となって取り組む運動です。

運動に取り組む主体は

県民一人一人、自主防災組織や地域における活動を行う方々、事業者、行政など、みんなが主体です。

運動を進めるために

- 広島県は、県民、自主防災組織等、事業者、市町が参画した推進体制を整備します。
- 広島県は、運動を総合的かつ計画的に推進するため、行動計画を策定します。

広島県では、防災・減災対策をこれまで以上に強力に推進していくことに加え、県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう取組を進めています。



お問い合わせ 広島県危機管理監
〒730-8511 広島市中区基町10番52号
TEL: (082) 513-2781 FAX: (082) 227-2122
広島県みんなで減災 検索

広島県 「みんなで減災」 県民総ぐるみ運動

災害から命を守るための行動

①知る

身の周りの災害危険箇所
などを知ろう。

②察知する

災害発生の危険性を
いち早く察知しよう。

③行動する

自ら判断して適切に
行動しよう。



広島県防災キャラクター
「タスケ三兄弟」

普段から災害に備えるための行動

④学ぶ

防災教室や防災訓練などに
参加して災害から命を守る
方法を学ぼう。

⑤備える

非常持出品を準備するなど
災害に備えよう。

広島県では、「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動条例」を制定し、平成27年4月から、県民みんなで「災害死ゼロ」を目指す取組を進めています。



H26.8.20の教訓を踏まえた「土砂災害啓発・伝承プロジェクト」の推進

8. 20土砂災害の教訓を踏まえ、再び同じ災害を繰り返さないためには、土砂災害に関する防災意識の醸成を図るとともに、災害の記憶を風化させず、被災の事実を後世に伝承していく必要があります。

「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」では、土砂災害への防災意識を県民へ広く啓発することに加えて、被災事実を地域に確実に伝承していく取組を積極的に実施することにより、地域防災力の向上を推進していきます。



防災意識の醸成による地域防災力の向上



「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイト

身近な土砂災害を知ろう 「啓発」

- 土砂災害防止月間における集中的な情報発信
- 様々な機会を活用した啓発活動



「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」の一環として、他部局等が実施する取組や各種イベント等と一層の連携を図り、県民への防災意識の醸成を促進することを通じて、“県民一人一人が土砂災害から身を守る知識を身につけている状態”の実現を目指します。

土砂災害について学ぼう 「防災教育」

- 学校の防災教育と共同した体験授業の展開
- 学校安全指導者に対する説明



②学校が独自に防災教育をできる体制づくり
県教育委員会と密接な協力連携関係を築き、“学校安全指導者への防災意識を高め、各学校が独自に防災授業を実施できる体制づくり”を目指します。

土砂災害を未来に伝えよう 「伝承」

- 地域の砂防情報アーカイブの推進
- 歴史的砂防施設の保存



③地域の「語り部」を育成
子供たちが、学校の学習発表会等の機会を通じて、親や地域の方へ、過去に身近で起きた土砂災害について発表するなど、“新たな地域の”語り部”を育成することにより、過去の災害が確実に地域住民へ伝承されていく状態”の実現を目指します。

平成30年7月豪雨

■土砂災害による被害

土砂災害発生箇所数

1,242箇所

(全国の年間平均発生箇所数に匹敵)

土砂災害による死者数

87名

(直接死114名の76%)

○平成30年7月豪雨災害を踏まえた今後の水害・土砂災害対策のあり方検討会

☞学識経験者等を交え、事象の検証・分析を行い、当面の施策及び中・長期的な対策について検討

土砂災害警戒区域等内での発災

☞土砂災害の約8割は土砂災害警戒区域及び土砂災害危険箇所内で発災。

☞87名の死者のうち9割が土砂災害警戒区域及び土砂災害危険箇所内で被災。

課題

☞指定済小学校区内において、住民の35%が指定状況を把握できていない。

☞土砂災害危険度情報の認知度は56%と低く、土砂災害警戒区域内でも事前の避難に結びついていない。

施策

☞新たな周知方法を検討し更なる周知を図り、防災情報を適切に活用し、自ら避難行動ができるよう防災知識の向上に向けた取り組みを推進する必要がある。

地形の三次元表示（3Dマップ化）

- 土砂災害警戒区域等を示すマップに，地形を三次元で表示する「3Dマップ」を作成（令和3年7月開始）
- 2D表示では伝わりづらい地形情報（高低差や傾斜等）を立体的に可視化することで，土砂災害リスクを視覚的に認識することが可能

2Dマップ

3Dマップ

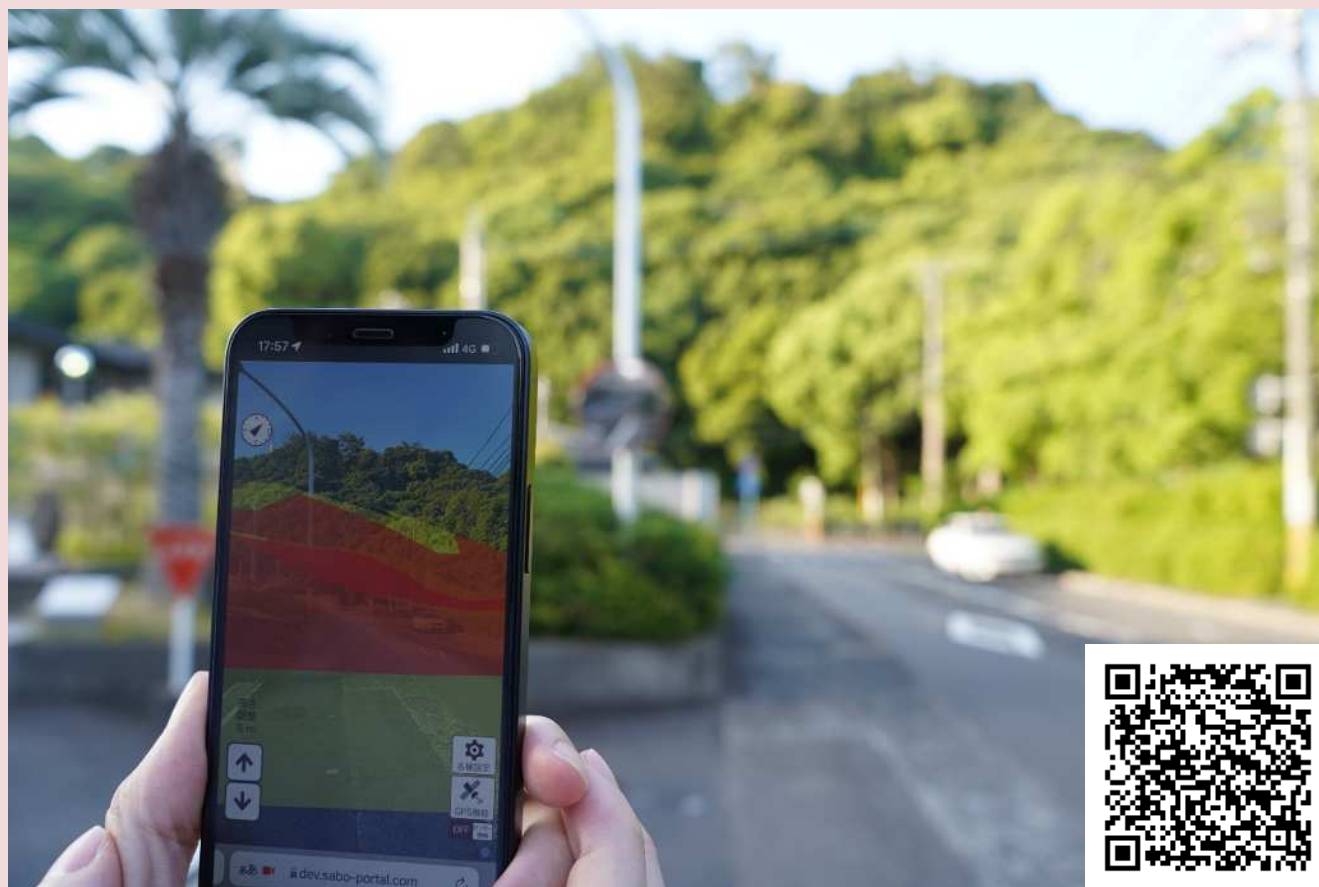
3Dマップでは高さや奥行きが情報として加わるため、より直感的に土砂災害の危険を把握することができる

地形に沿った形で
土砂災害警戒区域等を表示

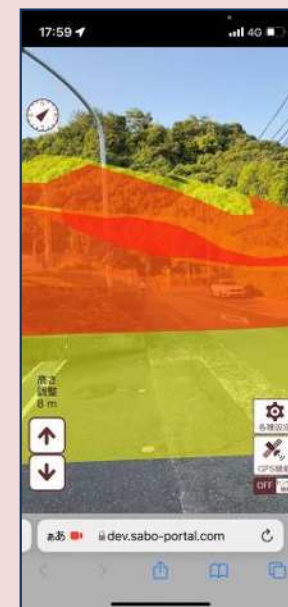
より分かりやすく、より身近に

○住民が分かりやすい防災情報の提供

身の回りの土砂災害リスクを正しく認識してもらうために、スマホのGPS機能を活用し、周囲の土砂災害警戒区域を **AR** で表示し土砂災害リスクを可視化。（令和4年6月末より運用開始）
防災出前講座でも活用中。



土砂災害警戒区域マップ画面



「キキミルAR」画面

キキミルAR

防災教育（出前講座）の充実

- 自然災害や防災に関する出前講座を「ひろしま出前講座」として一元化。
- 砂防課では毎年50校程度で出前講座を実施。
- VR、ARなどICTを活用することで、より効果の高い防災教育に取り組んでいる。



ひろしま防災出前講座

小学生対象

防災講座ベーシック

必要コマ数 1 P7～

▼「基礎編(防災講師)」「基礎編(Pepper)」「応用編」からいずれか1つ、選んでください。▼

基礎編

(防災講師が指導)

土砂災害・洪水などの自然災害の基礎知識と、マイ・タイムラインの作成方法を学ぶ。

基礎編

(Pepperくんと学ぶ)

自然災害の基本知識と、マイ・タイムラインの作成方法を人型ロボット「Pepper」と一緒に学ぶ。

応用編

基礎編レベル学習済児童向け。次の3つの中から選べる。

- ☐ マイ・タイムライン作成演習
- ☐ キッズ防災士認定講座
- ☐ 砂防講座(土砂災害)
- ☐ 河川講座(洪水) ※オンライン講座



選べる オプションメニュー

必要コマ数 1 P9～

▼下記ラインナップからどれか1つ、選んでください。▼

映像・ゲーム等で楽しく考える

体験学習型

- ☐ みんなで! 防災シミュレーションゲーム
非常持出品袋をつくらう! キッズ防災士認定講座
- ☐ みんなで! 防災シミュレーションゲーム
避難所運営の業務体験! キッズ防災士認定講座
- ☐ VR体験(土砂災害 or 洪水)

命を守る行動ができるようになるための

演習型

- ☐ ハザードマップ演習(土砂災害 or 洪水)
※洪水はオンライン講座
- ☐ 「ひろしまマイ・タイムライン」シート
作成演習
(基礎編との組み合わせがおすすめ)
キッズ防災士認定講座

もっと自然災害の予兆を知る

講義型

- ☐ 天気や気象を学ぼう
(広島地方気象台とのコラボレーション)

実物に触れ、施設の役割への理解を深める

現地見学型

- ☐ 土砂災害対策施設見学
- ☐ ダム施設見学

- オプションメニューのみの選択はできません。
- オプションメニューを選ぶ場合は、合計で2コマ授業になります。

VRを活用した防災教育



(オールインワン型VR)



(スマートフォン搭載型VR)



VR映像の例



現場での防災教育（出前講座）風景

元気、
美味しい、
暮らしやすい

ENERGY OF PEACE
ひろしま

- # 大雨のとき「ここが危険!!」

土砂災害から生命を守る三つの心得

土砂災害のおそれがある区域を知る 気象情報、避難情報に注意する 早めに避難する

土砂災害ハザードマップ

土砂災害警戒区域		がけ崩れ
土砂	土砂災害警戒区域	がけ崩れ
	土砂災害特別警戒区域	がけ崩れ
	土砂災害特別警戒区域	土砂崩

表示されている土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域は、標準作成時点（令和3年3月）における指定状況です。最新の土砂災害警戒区域等は、「土砂災害ポータルひろしま」で確認できます。

土砂災害ポータルひろしま **広島県防災Web**

お問い合わせ先 ▶ 広島県西部建設事務所 TEL.082-250-8151 / 広島県防災危機管理センター TEL.082-820-1540



【砂防施設の効果事例】 山本川支川第3支川砂防堰堤

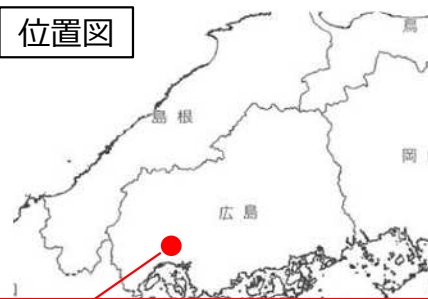
令和3年8月の豪雨に伴い土石流が発生したが、事前に整備されていた砂防堰堤が流下した土砂や流木を捕捉し、下流地域における被害発生を軽減した。

災害発生日 : 令和3年8月15日
 降雨状況 : 連続雨量 632mm (8月11日18時～15日3時)
 時間最大雨量 31mm (8月12日8時～9時)
 発生箇所 : 広島県広島市安佐南区山本新町
 崩壊状況 : 土石流捕捉量 約3,400m³

土石流の捕捉状況



位置図



広島県広島市安佐南区山本新町

全景



土石流発生前 の状況 (H28.10)



平成26年災害後に直轄事業により整備した施設が土石流を捕捉

災害発生日：令和3年8月14日

降雨状況：累加雨量 541mm

(8月12日2時～15日1時)

時間最大雨量 37mm

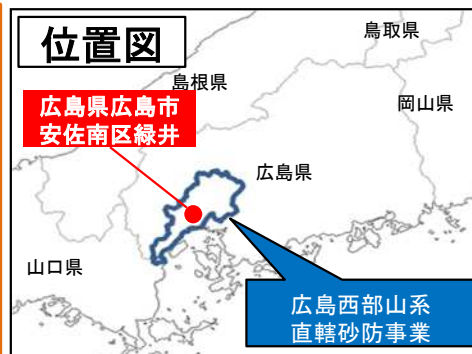
(8月12日8時～9時)

※高瀬雨量観測所（国交省）

発生箇所：広島県広島市安佐南区緑井8丁目
あ さみなみく みどりい

状況：8月12日からの大雨により土石流が発生したが、砂防堰堤で土砂及び流木を捕捉。下流地区への被害を未然に防止した。

(参考) 対象渓流の土砂災害警戒区域内の人家戸数252戸



堰堤の諸元

堤長 L=86.0m、堤高 H=12.5m

完成 平成28年3月

土石流発生前 (H29.3.9撮影)

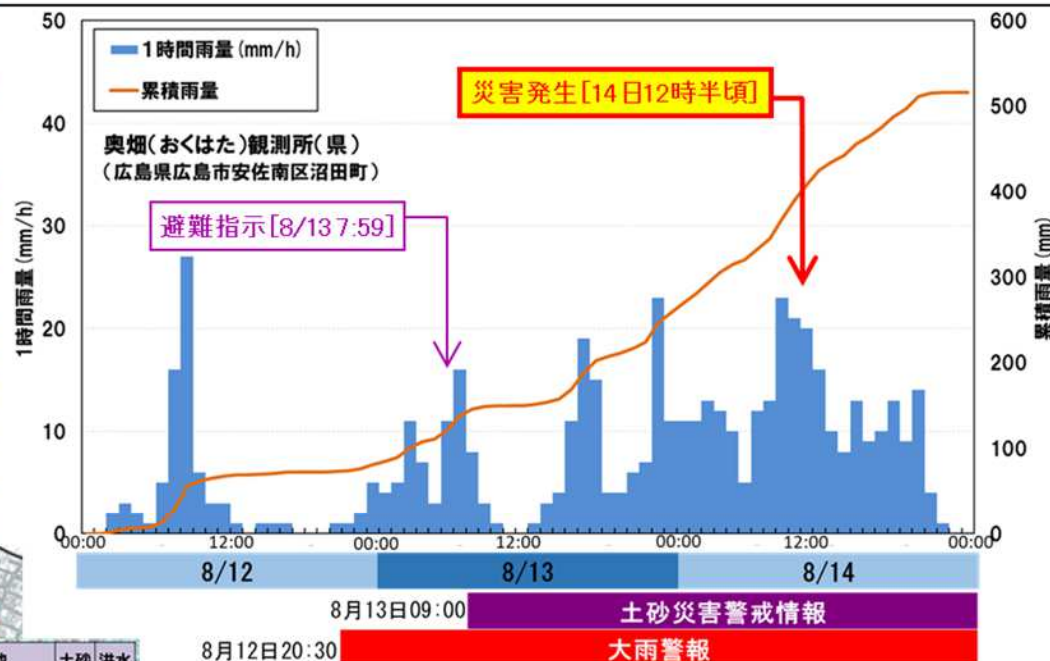
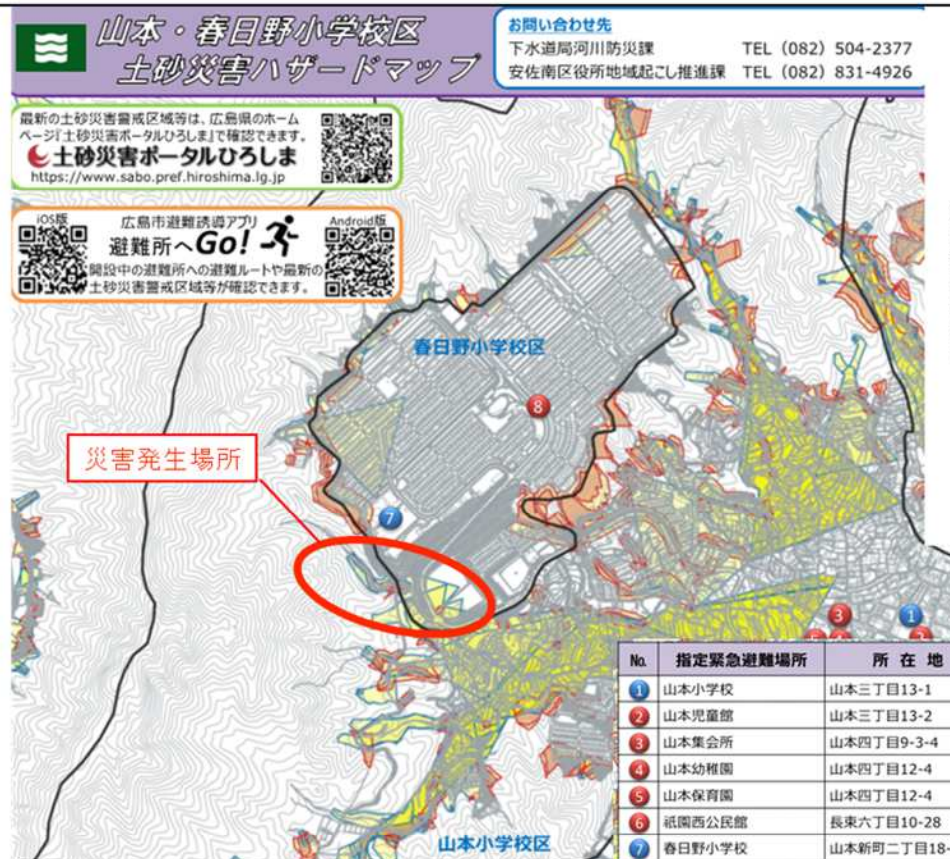


土石流発生直後 (R3.8.15撮影)



【令和3年】事前の避難により難を逃れた事例(広島市安佐南区山本)

- 広島市安佐南区山本地区で、民家が巻き込まれる土砂災害が発生。
- 立退き避難に遅れた場合や困難になった場合の次善の策として、自宅2階へ垂直避難を行ったことにより、人的被害を免れた。



No.	指定緊急避難場所	所在地	土砂	洪水
①	山本小学校	山本三丁目13-1	○	○
②	山本児童館	山本三丁目13-2	○	○
③	山本集会所	山本四丁目9-3-4	○	○
④	山本幼稚園	山本四丁目12-4	○	○
⑤	山本保育園	山本四丁目12-4	○	○
⑥	紙園西公民館	長束六丁目10-28	○	○
⑦	春日野小学校	山本新町二丁目18-1	○	○
⑧	春日野集会所	山本新町三丁目23-34	○	○

※ No.1、No.7の施設は、それぞれの小学校区で第1順位に開設する 指定緊急避難場所です。

※ 表中の○印については、その災害に対する避難場所に指定していることを示しています。

※ 指定緊急避難場所の開設状況は、広島市防災ポータル、広島市防災情報メール等で確認してください。(情報・学習編 裏面参照)で確認してください。

【災害の経緯】

- 13日07:59避難指示
- 13日09:00土砂災害警戒情報
- 発災前に自宅2階へ避難
- 14日12時半頃:災害発生

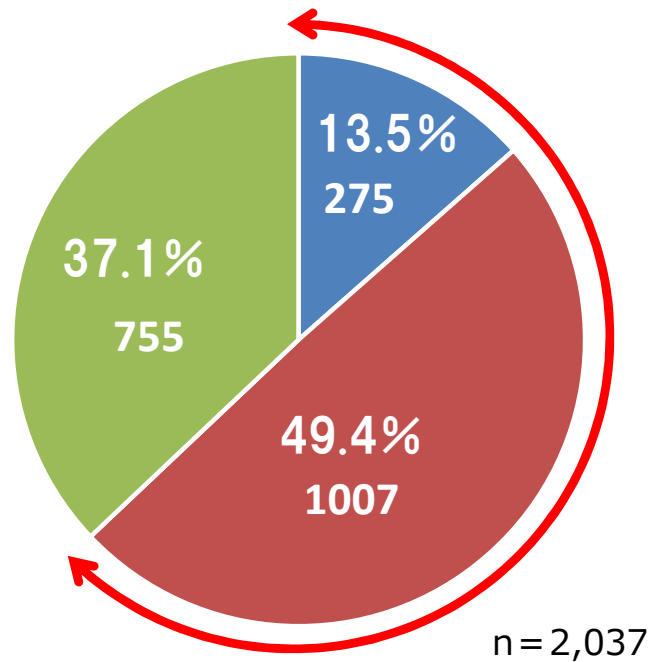


土砂災害警戒区域に対する住民理解

平成30年7月豪雨後の住民アンケート

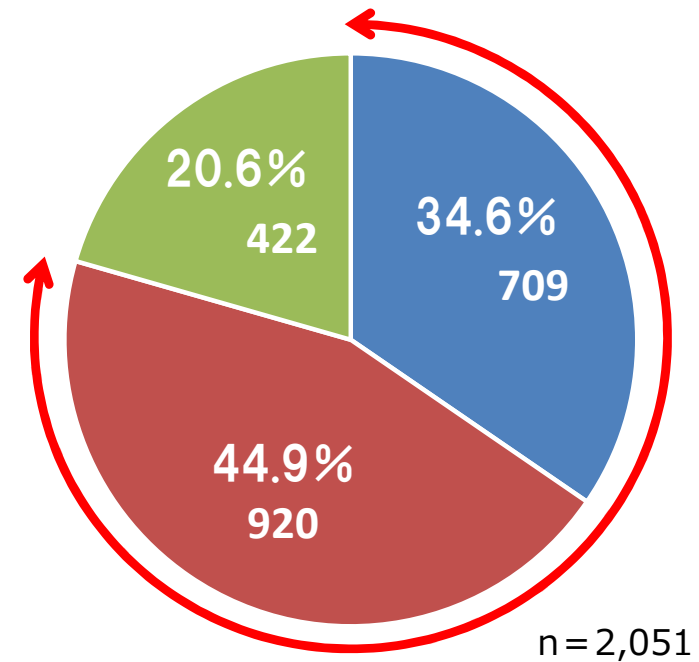
令和3年度 防災減災に関する県民意識調査

土砂災害リスクの理解度：62.9%



- 住居が土砂災害警戒（特別警戒）区域内
- 住居が土砂災害警戒（特別警戒）区域外
- 分からない

土砂災害リスクの理解度：79.4%

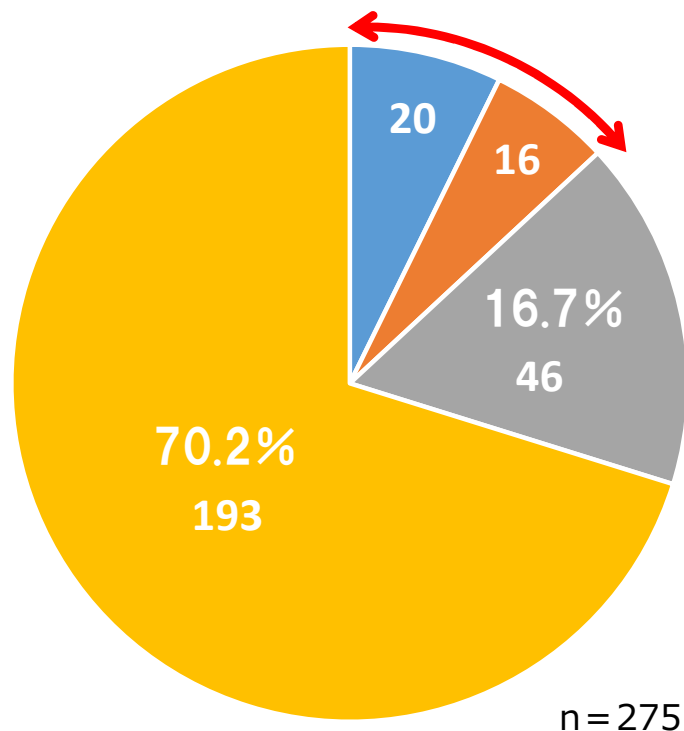


- 住居が土砂災害警戒（特別警戒）区域内
- 住居が土砂災害警戒（特別警戒）区域外
- 分からない

住民避難の実態

平成30年7月豪雨の際の避難率

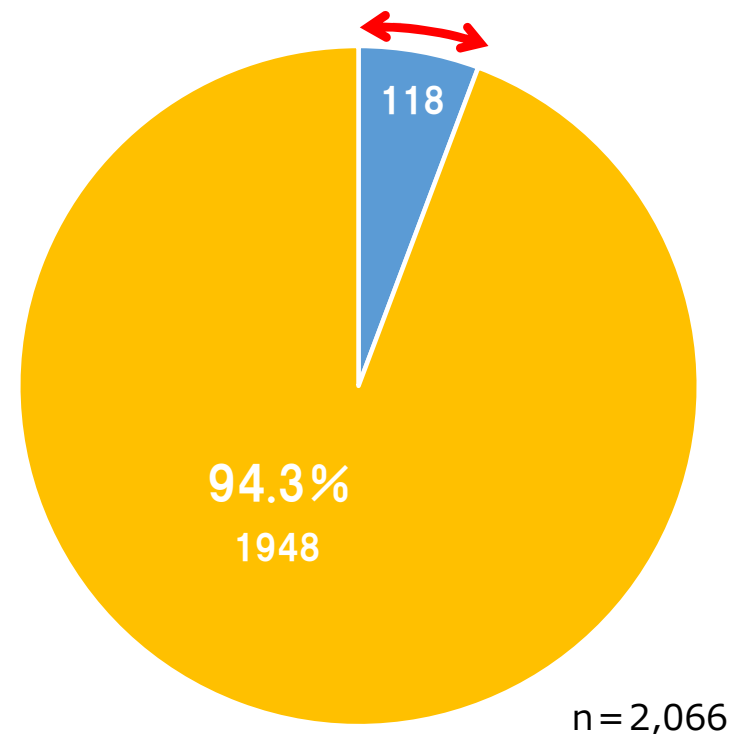
実質的避難率：13.1%



- 指定された避難場所への避難
- 親せき宅等、避難場所以外への避難
- 自宅内垂直避難など
- 避難していない

令和3年8月豪雨の際の避難率

実質的避難率：5.7%



- 避難した
- 避難していない

広島県内在住のインターネットモニター（成人男女）に対してアンケート調査有効回答（2,037）のうち、土砂災害警戒区域内に居住する方のみ抽出

広島県内の土砂災害警戒区域内に居住する18歳以上の男女5000人に対しアンケート用紙を郵送することにより調査（回答率55.2%）

計画的なハード対策の推進

直轄砂防事業と一体となって、災害時に重要な役割を担う防災拠点や住宅密集地、インフラ・ライフライン等の重要施設を保全するハード対策を計画的に実施。



人口、資産等の集積地を保全する土砂災害対策



計画的、効果的な施設改築、更新



土砂・洪水氾濫対策

元気、
美味しい、
暮らしやすい

ENERGY OF PEACE
ひろしま

- 27

元気、
美味しい、
暮らしやすい

ENERGY OF PEACE
ひろしま

- 安心・安全な社会を目指して ① 土砂災害への備え
- 災害時の被害を最小限に抑えるために、土砂災害の危険性を事前に把握し、対策を講じることは非常に重要です。土砂災害の危険性を事前に把握し、対策を講じることは非常に重要です。土砂災害の危険性を事前に把握し、対策を講じることは非常に重要です。
- 災害に備える 健康を守る 犯罪被害を防ぐ

土砂災害が生じる可能性のある場所は「土砂災害警戒区域（イエローゾーン）」・「土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）」として指定されています。



土砂災害の種類

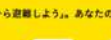
土石流
 山崩れや土砂の崩壊、大雨などによって、河川・谷間に大量の土砂が流れ込み、一気に激しく増え、下流に押し流される現象。

急傾斜地の崩壊
 急傾斜地（傾斜度が25度以上）の崩壊により、道路・建物・農作物などに被害が生じる。

地すべり
 斜面の土砂が、斜面の下方向にずれる現象。斜面の土砂が、斜面の下方向にずれる現象。

[illegible]

協賛企業・店舗（順不同）



【地址】：中國廣東省佛山市江門區江沙鎮
【電話】：0760-8822366-2211轉分機30-19150 傳真：0760-8822366

「まあ、選抜した人のほとんどが、
“まわりの人が選抜したから”を理由に選抜を決めています。
 だからこそ、**まずあなたから、選抜をはじめてください。**
 そして、選抜する際には、
 地域で声を掛けあって**“早めに選抜”**ができるよう、
 地域から両府の方々と連携するなどの準備をお願い致します。
 各市町が協定する選抜所にご協力下さい。安全な場所にある
 学校や市民会堂など、**“選抜の選抜先”**を確保しておきたいよう、

© 2000 Blackwell Science Ltd, *Journal of Internal Medicine* 247: 391–397

「聖地にべらる(全貴族)」

貴族は領土にのみならず、貴族としての身分を維持するために、領土を維持する必要がある。それ以外の力は貴族の力。

「聖地にべらる(全貴族)」

貴族は領土にのみならず、貴族としての身分を維持するために、領土を維持する必要がある。それ以外の力は貴族の力。

「聖地にべらる(全貴族)」

貴族は領土にのみならず、貴族としての身分を維持するために、領土を維持する必要がある。それ以外の力は貴族の力。

—広島県「みんなで被災」県民ぐるみ運動 推進中—

[illegible]

一 広島県「みんなで読書」県民館ぐるみ運動 推進中～ 読書はじめる一歩

早めの決断が命を守ります！



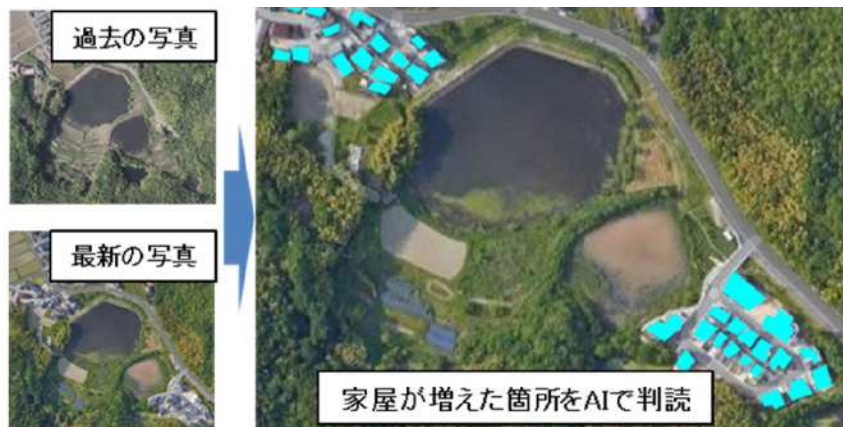
避難の準備はしていただけど、
自分だけでは避難を決められず、
気付けば避難が遅れてしまいました

大切な人を悲しませない。
だから避難を。

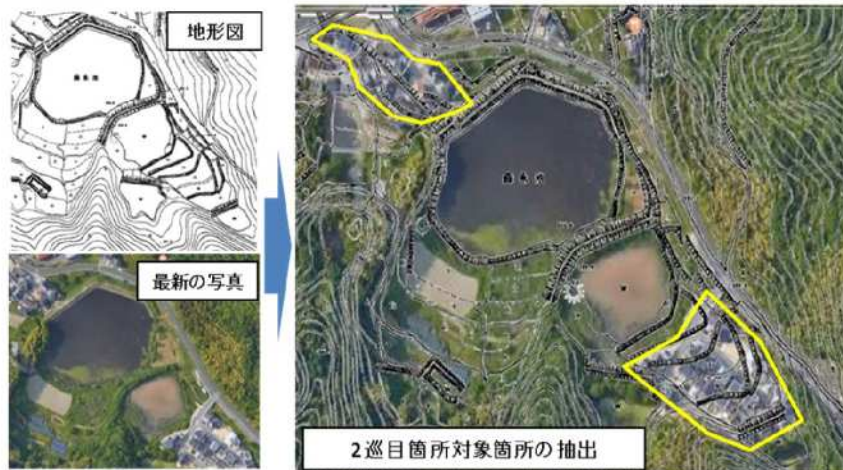


土砂災害警戒区域見直し等の推進

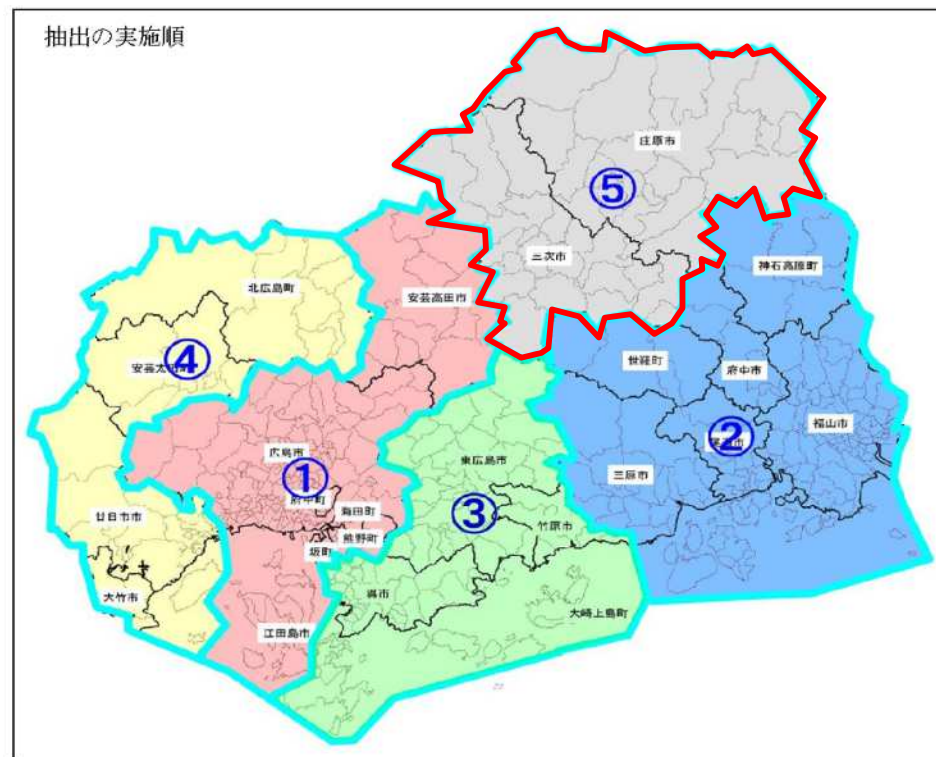
- 砂防堰堤等のハード対策の完了に伴うレッドゾーンの見直しや、新たな宅地開発等による地形改変箇所の区域指定など、区域の更新を適切に行う。（指定告示は毎月実施）
- 併せて、A I 技術を活用した地形改変箇所の抽出など基礎調査の高度化を図りながら3巡目の基礎調査・区域指定を進める。



・二次判読



地形改変抽出のためのAI技術の活用イメージ



地形改変箇所抽出の実施順
※県内を5ブロックに分割して、5年で一巡する計画

○土砂災害警戒区域等の見直し(追加指定、再指定、解除)状況

実施年度	R2	R3	R4	R5	R6
指定箇所数	204箇所	194箇所	165箇所	270箇所	約250箇所 (予定)

まちづくりの観点からの取り組み

- 市街化区域内の土砂災害特別警戒区域について、市街化調整区域へ編入（逆線引き）する取り組みに着手。
- 概ね50年後には災害リスクの高い区域（レッドゾーン）に居住する人が概ねゼロとなることを目指す。
- 段階的に進めることとし、まずは市街化抑制の観点から、市街化区域縁辺部の未利用地から先行的に実施。

